

DENSO

Crafting the Core

統合報告書 2022

2022年3月期



デンソー基本理念

世界と未来をみつめ
 新しい価値の創造を通じて
 人々の幸福に貢献する

デンソースピリット

先進、信頼、そして総智・総力の精神。

1949年の設立以来培ってきた価値観や信念を明文化し、

世界中のデンソー社員と共有したものです。

クルマ社会や人々のために貢献する原動力や競争力となる私たちの行動指針です。

先進

デンソーにしかできない
 驚きや感動を提供する

先取

創造

挑戦

信頼

お客様の期待を超える
 安心や喜びを届ける

品質第一

現地現物

カイゼン

総智・総力

チームの力で
 最大の成果を発揮する

コミュニケーション

チームワーク

人財育成

社 是

一、信用を尊び責任を重んず

一、虚飾を排し和衷協力誠実事に當る

一、研究と創造に努め常に時流に先んず

一、最善の品質とサービスを以て社会に奉仕す

「デンソー統合報告書2022」の発行にあたって



CFO
取締役・経営役員
松井 靖

デンソーでは、当社の持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様により一層ご理解を深めていただけるよう、統合報告書を毎年発行しています。

「統合報告書2022」では、2030年長期ビジョンを実現するための環境・安心戦略や、2022年度に新たに制定した2025年中期方針、そして近年注目が高まる非財務資本の強化策などを具体的に掲載しています。また、不透明な事業環境でも企業価値を創造し続けるための財務戦略もご紹介しています。

当社は引き続き、ステークホルダーの皆様への適時・的確な情報開示と対話に努めていきます。最後に、本報告書の作成プロセスが正当であることをここに表明いたします。

編集方針

「統合報告書2022」は、業績や営業概況、経営戦略などの財務情報のご提供に加え、成長を支える基盤としての「環境・社会・ガバナンス(ESG)」といった「見えない資産」である非財務情報を統合的に紹介することで、デンソーが社会に対してどのような価値を提供しているのか、その企業価値向上のプロセスを分かりやすく報告する「統合レポート」として編集しています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、デンソーが長期的に企業価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指した取り組みに励んでいることをご理解いただければ幸いです。

作成にあたっては、IFRS財団が提唱する「統合報告フレームワーク」と、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参照しました。また、社会性報告や環境報告については、ホームページの「サステナビリティ」で詳細情報を掲載していますので、ご覧ください。



報告対象範囲

対象組織 株式会社デンソーおよびデンソーグループ(「(株)デンソー」や、「(単体)」と表記のあるところは、株式会社デンソー単体を示します。)

報告対象期間 2021年度(2021年4月～2022年3月)を主たる活動期間としています。一部に2022年4月以降の活動内容を含みます。

対象読者 デンソーグループと関わるすべてのステークホルダーの皆様

将来見通しに関する注意事項

本報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、本報告書の記載とは異なる可能性があります。

表紙について

製造現場の社員が目標に対して志を高め、チームの一体感を育む「唱和」のイメージと、デンソーオリジナルのデザインエレメント「D-cross」を使用することで、総智・総力の精神でモノづくりに取り組み、社会に価値を提供していく「デンソーらしさ」を表現しています。

統合報告書の位置付け



CONTENTS

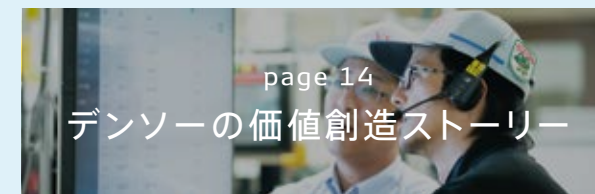
DENSO Integrated Report 2022



6 笑顔広がる未来に向けて



8 ステークホルダーの皆様へ



14 過去、現在、そして未来に向けて

22 培ってきた3つの強み

26 積み上げてきた資本

28 新たな価値を生む7つのコア事業

30 デンソーの価値創造プロセス

32 特集 価値創造の実践



35 サステナビリティ経営

36 2030年の目指す姿とロードマップ

38 事業環境認識

40 1 優先取組課題(マテリアリティ)

42 2025年長期戦略・2021年中期方針の成果

44 デンソー変革プラン「Reborn21」の成果

48 2 2025年中期方針

50 3 環境・安心戦略

56 新たな価値を生む基盤

57 財務資本

58 CFO MESSAGE

65 人的資本

67 CHRO MESSAGE

68 製造資本

69 CMzO MESSAGE

70 知的資本

71 CTO MESSAGE

72 自然資本

77 社会・関係資本

80 事業別概況

81 事業ポートフォリオと創出価値

82 事業内容と主要製品

84 エレクトリフィケーションシステム

86 パワトレインシステム

88 サーマルシステム

90 モビリティエレクトロニクス

92 先進デバイス

94 インダストリアルソリューション

96 フードバリューチェーン

98 コーポレートガバナンス

99 コーポレートガバナンス

108 DIALOG 社外取締役対談

111 新任社外取締役メッセージ

112 取締役および監査役

114 リスクマネジメント

116 コンプライアンス

117 コーポレートデータ

118 Facts & Figures

120 10カ年データ

122 企業・株式情報

TCFD INDEX



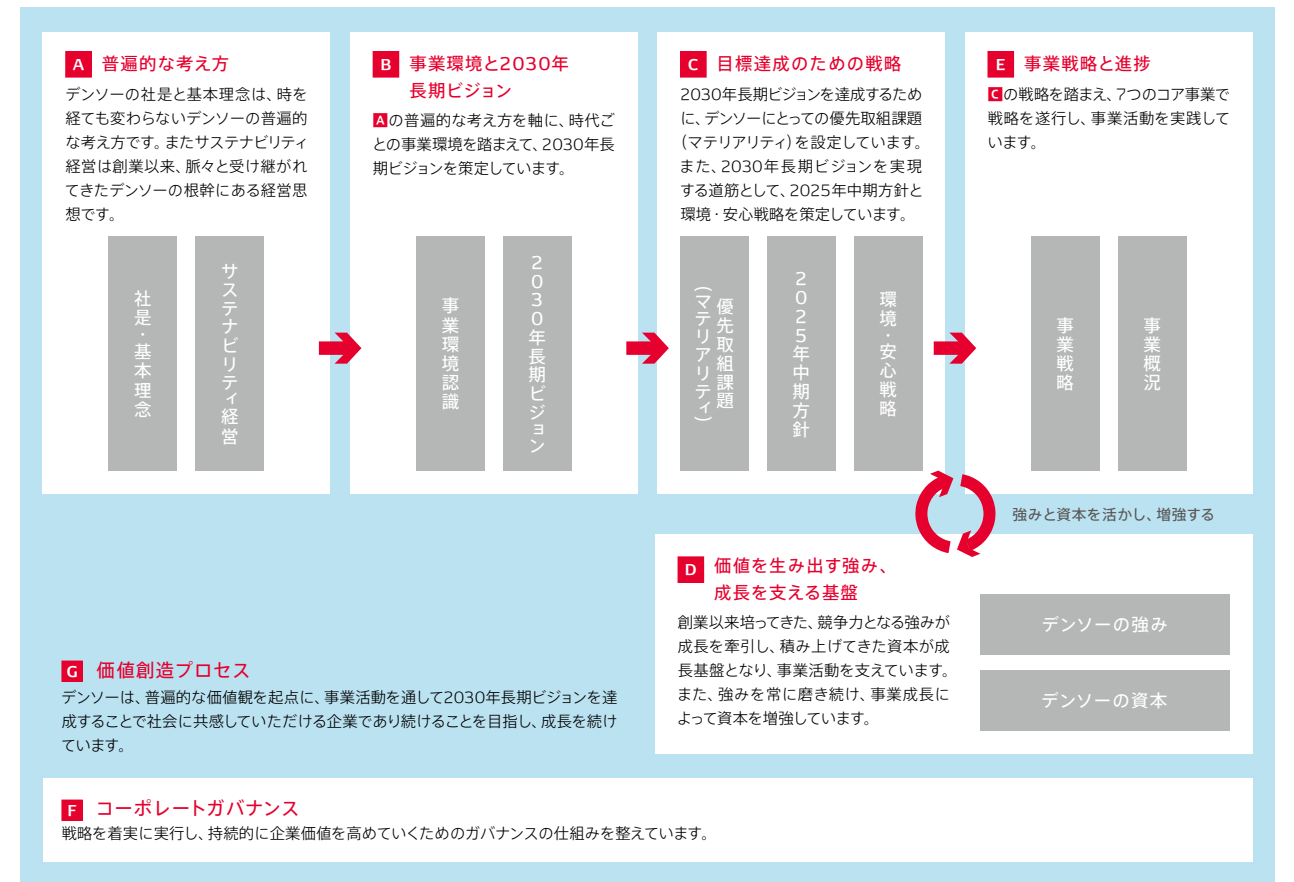
デンソーは、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) に賛同しており、「統合報告書2022」ではTCFDが推奨する気候関連情報の開示項目を参照しています。下表は、本報告書および当社ホームページにおける推奨開示項目との対照を示しています。なお、本報告書には、シナリオ分析に基づく機会とリスクの開示とTCFD提言に沿った取り組み状況をまとめたページがありますので、詳細は □P.73-76 をご覧ください。

	統合報告書2022	当社ホームページ
ガバナンス	a) 気候関連のリスクおよび機会についての、取締役会による監視体制 P.75:「環境」価値の最大化に向けた取り組み>ガバナンス P.100: コーポレートガバナンス>コーポレートガバナンス体制図	デンソーについて>サステナビリティ>サステナビリティマネジメント>推進体制: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/management/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン>環境マネジメント(エコマネジメント)>推進体制: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/eco-management/ デンソーについて>サステナビリティ>ガバナンス>コーポレートガバナンス>ガバナンス体制と主な機関: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/governance/management/
	b) 気候関連のリスクおよび機会を評価・管理する上での経営者の役割 P.75:「環境」価値の最大化に向けた取り組み>ガバナンス P.100: コーポレートガバナンス>コーポレートガバナンス体制図	デンソーについて>サステナビリティ>サステナビリティマネジメント>推進体制: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/management/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン>環境マネジメント(エコマネジメント)>推進体制: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/eco-management/ デンソーについて>サステナビリティ>ガバナンス>コーポレートガバナンス>ガバナンス体制と主な機関: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/governance/management/
戦略	a) 組織が識別した、短期・中期・長期の気候関連のリスクおよび機会 P.38-39: 事業環境認識 P.40-41: 優先取組課題(マテリアリティ) P.73-74: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>シナリオに基づく事業のリスクと機会の分析	デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>環境行動計画: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/action-plan/ デンソーについて>サステナビリティ>サステナビリティマネジメント>マテリアリティ: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/management/
	b) 気候関連のリスクおよび機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響 P.36-37: 2030年の目指す姿とロードマップ P.38-39: 事業環境認識 P.40-41: 優先取組課題(マテリアリティ) P.42-47: 2025年長期戦略・2021年中期方針の成果、デンソー変革プラン「Reborn21」の成果 P.48-49: 2025年中期方針 P.50、52-53、54: 環境・安心戦略 P.58-64: CFO MESSAGE P.73-75: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>シナリオに基づく事業のリスクと機会の分析、経営戦略への影響、財務計画への影響	デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>環境行動計画: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/action-plan/
	c) 2°C以下のシナリオを含む、様々な気候関連シナリオに基づく検討を踏まえた、組織の戦略のレジリエンス P.73-75: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>シナリオに基づく事業のリスクと機会の分析、経営戦略への影響、財務計画への影響	
リスク管理	a) 組織が気候関連リスクを識別・評価するプロセス P.40-41: 優先取組課題(マテリアリティ) P.75: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>リスク管理 P.114-115: リスクマネジメント	デンソーについて>サステナビリティ>サステナビリティマネジメント>マテリアリティ: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/management/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン>環境マネジメント(エコマネジメント)>グループ連結環境マネジメントの推進、環境リスクマネジメント: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/eco-management/ デンソーについて>サステナビリティ>ガバナンス>リスク管理>リスクの把握と対応の明確化: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/governance/risk/
	b) 組織が気候関連リスクを管理するプロセス P.40-41: 優先取組課題(マテリアリティ) P.75: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>リスク管理 P.114-115: リスクマネジメント	デンソーについて>サステナビリティ>サステナビリティマネジメント>マテリアリティ: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/management/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン>環境マネジメント(エコマネジメント)>グループ連結環境マネジメントの推進、環境リスクマネジメント: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/eco-management/ デンソーについて>サステナビリティ>ガバナンス>リスク管理>リスクの把握と対応の明確化: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/governance/risk/
	c) 組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するプロセスが組織の総合的リスク管理にどのように統合されているか P.75: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>リスク管理 P.114-115: リスクマネジメント	デンソーについて>サステナビリティ>ガバナンス>リスク管理: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/governance/risk/
指標と目標	a) 組織が自らの戦略とリスク管理プロセスに即して、気候関連のリスクおよび機会を評価する際に用いる指標 P.41: 優先取組課題(マテリアリティ)>マテリアリティのKPI P.50: 環境・安心戦略 P.76: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>指標と目標	デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>エコビジョン: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/ecovision/
	b) Scope 1、Scope 2および当てはまる場合はScope 3の温室効果ガス(GHG)排出量と、その関連リスク P.119: 非財務ハイライト>CO ₂ 排出量(グローバル/Scope1+2) P.120-121: 10カ年データ>非財務データ>CO ₂ 排出量(グローバル)	デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>パフォーマンスデータ(環境編): https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/library/environment-data/
	c) 組織が気候関連リスクおよび機会を管理するために用いる目標、および目標に対する実績 P.41: 優先取組課題(マテリアリティ)>マテリアリティのKPI P.50: 環境・安心戦略 P.76: 「環境」価値の最大化に向けた取り組み>指標と目標 P.120-121: 10カ年データ>非財務データ>CO ₂ 排出量(グローバル)	デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>環境行動計画>「第7次環境行動計画」の位置づけ: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/environment/action-plan/ デンソーについて>サステナビリティ>環境への取り組み>パフォーマンスデータ(環境編)>アクション2: https://www.denso.com/jp/ja/about-us/sustainability/library/environment-data/

統合報告書2022 論理構成体系

本報告書はデンソーの価値創造ストーリーを説明するために、下図の論理構成をもとに編集しています。

「統合報告書2022」は、デンソーの価値創造プロセスを読者の皆様に深く理解していただきながら、対話の機会を促進していくことを目的としています。冊子全体を通して、価値創造プロセスを読み解く上での主要な構成要素(経営理念やビジネスモデル、戦略、ガバナンスなど)を網羅しながら、統合的にお伝えできるよう、ストーリーラインを組み立てて作成しています。下図は、ストーリーラインのもとになる主要な構成要素の論理構成(つながり)を示しています。また、知りたい情報にすぐにアクセスできるよう、各要素に属するキーワードを索引にしました。



A 社は P.15 基本理念 P.1 サステナビリティ経営 P.14-33、35-55	D デンソーの強み P.22-25 デンソーの資本 P.26-27、57-79
B 事業環境を踏まえた社長の考え方とビジョン P.8-13 事業環境認識(PEST分析) P.38-39 リスクと機会、その対応策 P.38-39 デンソーにとっての重点取り組み P.39 2030年長期ビジョン P.36-37 気候変動に関するリスクと機会の抽出、その対応策 P.73-74	E デンソーの事業(概要) P.28-29 事業ポートフォリオと創出価値 P.81 各事業の戦略と概況 P.82-97 Facts & Figures P.118-119
C 2030年の目指す姿とロードマップ P.36-37 2030年長期ビジョン実現に向けた成長指標と解決を目指す社会課題 P.37 ① 優先取組課題(マテリアリティ) P.40-41 関連するSDGs P.37 ② 2025年中期方針 P.48-49 ③ 環境・安心戦略 P.50-55 財務戦略 P.57-64	F コーポレートガバナンス向上への取り組み P.99 企業統治の体制 P.100-102 役員報酬 P.104-106 政策保有株式 P.107 社外取締役対談 P.108-110 新任社外取締役メッセージ P.111 取締役および監査役 P.112-113 リスクマネジメント P.114-115 コンプライアンス P.116
G 価値創造プロセス P.30-31 価値創造プロセスの主要素 P.14-29	